

再評価結果（令和2年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：奥村 康博

事業名 一般国道4号 北上拡幅 <small>きたかみかみかくふく</small>	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点 自：岩手県北上市相去町字笹長根 <small>きたかみ あいさり ささながね</small> 至：岩手県北上市飯豊町村崎野19地割 <small>きたかみ いいとよ むらさきの ちわり</small>	延長	12.2km		
事業概要 一般国道4号は、東京都中央区から青森県青森市に至る延長約836.4kmの主要な幹線道路である。北上拡幅は、岩手県北上市相去町字笹長根から飯豊町村崎野19地割間に至る延長12.2kmの4車線道路である。				
S57年度事業化		H7年度都市計画決定		S58年度用地着手
全体事業費	約180億円	事業進捗率	約89%	供用済延長 9.2km
計画交通量		27,400台/日		
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.4	総費用 (残事業)/ (事業全体) 23億円/ 393億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) 125億円/ 541億円	基準年 令和元年
	(残事業) 5.4	事業費：14億円/ 355億円 維持管理費：9.3億円/ 38億円	走行時間短縮便益：111億円/ 455億円 走行経費減少便益：14億円/ 81億円 交通事故減少便益：0.54億円/ 5.9億円	
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 【全体事業】 交通量変動：B/C=1.3~1.5(交通量 ±10%) 事業費変動：B/C=1.4~1.4(事業費 ±10%) 事業期間変動：B/C=1.3~1.4(事業期間 ±1年) 【残事業】 B/C=4.9~5.9(交通量 ±10%) B/C=5.1~5.7(事業費 ±10%) B/C=5.1~5.5(事業期間 ±1年)				
事業の効果等 ①交通混雑の解消 ・2車線区間における交通混雑の解消 ②物流効率化 ・周辺に立地する工業団地から自動車工場への部品輸送の効率化に寄与 ③部分開通の効果（旅行速度） ・4車線区間では、平日の混雑時旅行速度が拡幅前に比べて約3割向上（29.6km/h→37.4km/h）				
関係する地方公共団体等の意見 ○岩手県知事の意見 ・「対応方針（原案）」案に対して異議ありません。 ・一般国道4号は、本県内陸の物流の円滑化や地域間の交流・連携の促進、快適・安全な生活の確保を図るために欠かすことのできない社会基盤です。 自動車産業など東北有数の産業集積地である北上・金ヶ崎地域の渋滞区間の緩和・解消を図るためには、北上拡幅の早期完成が不可欠であることから、コスト縮減にも十分配慮しながら、事業の進捗を図っていただきたいと考えております。 また、本事業において検討されたコスト縮減対策等については、本県で実施する道路整備事業においても参考にさせていただきたいと考えておりますので、引き続き御指導をお願いします。				
事業評価監視委員会の意見 対応方針（原案）どおり「継続」が妥当である				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。 ・一般国道4号 金ヶ崎拡幅が平成29年度に新規事業化 ・東北横断自動車道釜石秋田線（釜石～花巻）が平成31年3月に全線開通 ・北上工業団地では、大手半導体工場が建設中。（2020年前半に量産開始予定）				
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・昭和57年度事業化、用地進捗率約87%、事業進捗率約89%（平成31年3月末時点） ・平成22年度まで：北上市相去町平林～北上市飯豊町村崎野19地割間 延長9.2km 4車線化済				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・事業の進捗に係る問題はない				

施設の構造や工法の変更等

- ・迂回路施工時の工法見直しによるコスト縮減を図るとともに、引き続きコスト縮減を検討しながら事業を推進する

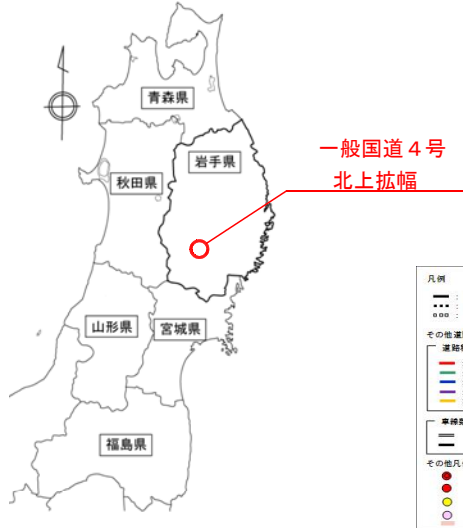
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

国道4号の交通混雑の緩和を図るとともに、物流効率化による更なる経済産業活動支援のため、早期整備の必要性が高い

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。